

令和7年度事業報告書

自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

1 福井県立すこやかシルバー病院における診療に関する業務

(1) 入院診療患者数

今年度は、入院患者を積極的に受け入れるため、ベッド調整管理を徹底し、院長以下職員一丸となって取り組んだ結果、入院診療の延べ患者数は、R6年度に比べて102人減(▲0.4%)の32,277人となり、1日平均患者数は0.3人減の88.4人となった。

	R7 (人)		R6 (人)		R7-R6 (人)		R7/R6
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
東病棟	16,388	44.9	16,194	44.4	194	0.5	1.2%
西病棟	15,889	43.5	16,185	44.3	▲296	▲0.8	▲1.8%
計	32,277	88.4	32,379	88.7	▲102	▲0.3	▲0.3%

※ R7当初目標値：延べ患者数32,850人、1日平均患者数90.0人

(2) 外来診療患者数

今年度は常勤医師1名減の2人体制となったが、外来診療の延べ患者数は、R6年度に比べて76人増(1.6%)の4,366人となり、1日平均患者数は0.3人増の18.0人となった。

	R7 (人)		R6 (人)		R7-R6 (人)		R7/R6
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
外 来	4,366	18.0	4,290	17.7	76	0.3	1.8%
(うち初診)	(562)	(2.3)	(546)	(2.2)	(16)	(0.1)	(2.9%)

※ R7当初目標値：延べ患者数6,342人、1日平均患者数26.1人

(3) デイケア患者数

今年度のデイケアの延べ患者数は、R6年度に比べて617人増(15.8%)の4,604人となり、1日平均患者数は2.6人増の19.0人となり、過去最高の人数となった。

	R7 (人)		R6 (人)		R7-R6 (人)		R7/R6
	患者数	1日平均	患者数	1日平均	患者数	1日平均	
デイケア	4,604	19.0	3,987	16.4	617	2.6	15.5%

※ R7当初目標値：延べ患者数4,739人、1日平均患者数19.5人

(4) 電子カルテシステムの運用

令和2年3月16日から電子カルテシステムを本稼働させて以降、業務の効率化が図られ、病院経営の向上に大きく貢献している。

今年度は、病院を標的としたサイバー攻撃に備えるため、システム業者とセキュリティ対策の確認を行うとともに、実際の攻撃を想定した図上訓練を実施した。

2 福井県立すこやかシルバー病院における施設および設備の維持管理に関する業務

施設、設備および備品を良好に維持するため、日常点検および法定の環境測定等の保守管理業務を実施した。

また、老朽化した設備の更新や療養環境の改善を図るため、次のとおり整備を行った。

(1) 県執行分

内 容	備 考
冷温水発生機および冷却塔オーバーホール	開院以来、2回目実施（1回目平成20年度実施）
空調機更新工事AHU-2	開院以来、1回目実施
医療ガス設備吸引ポンプおよび警報盤取替工事	開院以来、1回目実施
高圧ケーブルおよび真空遮断器取替工事	開院以来、1回目実施
発電機蓄電池取替工事	経年劣化
電話交換設備更新	故障時修理不能、14年間使用
CR装置の更新	故障時修理不能、10年間使用
スチームコンプレッションの更新	故障時修理不能、13年間使用
医用テレメーターの更新	故障時修理不能、15年間使用
低床電動ベッドの整備	5台

(2) センター執行分

内 容	備 考
デイケア用送迎車	新規

3 事業の企画および実施に関する業務

(1) 介護教育事業

認知症高齢者に関する県内の中核医療機関として、医療、保健、福祉に係る水準の向上を図るため、認知症に関する介護教育研修を実施した。

ア 認知症高齢者に係る介護教育および研修に関する業務

(ア) 全県応募型研修（一般コース）

認知症に関する知識の普及・啓発を進めるため、一般県民を対象に研修を実施した。

	研修日	研修内容	参加者
1	4/25	生活の質を高める環境づくり～認知症になっても在宅で暮らす工夫～	15人
2	4/28	脳を鍛えて認知症を防ごう	23人
3	5/2	認知症の進行段階別症状と対応	15人
4	5/7	認知症の方とのコミュニケーション	4人

5	5/13	認知症の方の症状悪化の原因を考える	10人
6	5/15	心も体も元気に健康に～認知症を理解しリスクを下げよう～	11人
7	5/27	認知症の様々な症状に対するアプローチ	6人
8	5/30	認知症高齢者の高齢者の口腔ケア	1人
9	6/6	認知症高齢者の排泄援助	1人
10	6/10	認知症の方が体験している現実とは	8人
11	6/12	介護保険制度利用のポイント	10人
12	6/20	生活の質を高める環境づくり～認知症になっても在宅で暮らす工夫～	6人
13	6/21	認知症の方とのコミュニケーション	3人
14	6/24	高齢者の口腔ケア	2人
15	6/27	レビー小体型認知症の方のケア	3人
16	6/28	認知症の基礎知識と対応のポイント	5人
17	7/1	脳を鍛えて認知症を防ごう	4人
18	7/2	心も体も元気に健康に～認知症を理解しリスクを下げよう～	2人
19	7/4	認知症の様々な症状に対するアプローチ	6人
20	7/8	認知症の方とのコミュニケーション	2人
21	7/14	認知症の診断・治療・予後(医師の講義)	9人
22	7/15	認知症の進行段階別症状と対応	1人
23	7/18	認知症高齢者の食事援助	1人
24	7/22	認知症の方が体験している現実とは	1人
25	7/25	脳を鍛えて認知症を防ごう	3人
26	7/29	認知症の方の症状悪化の原因を考える	1人
27	8/1	認知症の基礎知識と対応のポイント	4人
28	8/5	認知症の方とのコミュニケーション	16人
29	8/6	認知症を予防するための基礎知識～栄養面からのアプローチ～	11人
30	8/15	生活の質を高める環境づくり～認知症になっても在宅で暮らす工夫～	3人
31	8/19	脳を鍛えて認知症を防ごう	5人
32	9/2	認知症高齢者の排泄援助	3人
33	9/5	脳を鍛えて認知症を防ごう	4人
34	9/9	認知症の様々な症状に対するアプローチ	2人
35	9/16	認知症の方とのコミュニケーション	1人
36	9/17	心も体も元気に健康に～認知症を理解しリスクを下げよう～	5人
37	9/18	介護保険制度利用のポイント	2人
38	9/19	認知症の進行段階別症状と対応	5人
39	9/22	認知症の方が体験している現実とは	3人
40	9/25	レビー小体型認知症の方のケア	4人
41	9/30	認知症高齢者の高齢者の口腔ケア	1人
42	10/3	脳を鍛えて認知症を防ごう	12人
43	10/7	認知症の様々な症状に対するアプローチ	3人
44	10/14	認知症の方の症状悪化の原因を考える	7人
45	10/17	認知症の基礎知識と対応のポイント	5人
46	10/24	生活の質を高める環境づくり～認知症になっても在宅で暮らす工夫～	5人
47	10/28	認知症の方とのコミュニケーション	20人
48	10/31	認知症の方が体験している現実とは	4人
49	11/4	認知症の方の症状悪化の原因を考える	3人

50	11/5	認知症を予防するための基礎知識～栄養面からのアプローチ～	4人
51	11/6	介護保険制度利用のポイント	6人
52	11/7	認知症高齢者の食事援助	2人
53	11/11	認知症の様々な症状に対するアプローチ	4人
54	11/12	心も体も元気に健康に～認知症を理解しリスクを下げよう～	5人
55	11/17	認知症の診断・治療・予後(医師の講義)	8人
56	11/18	認知症の方が体験している現実とは	6人
57	11/25	認知症の基礎知識と対応のポイント	3人
58	11/28	脳を鍛えて認知症を防ごう	9人
59	12/2	認知症の方とのコミュニケーション	9人
60	12/5	高齢者の口腔ケア	8人
61	12/16	認知症の進行段階別症状と対応	8人
計			353人

(イ) 専門職教育研修（施設職員コース）

認知症高齢者に関する専門的知識、技術の普及・啓発を進めるため、老人福祉施設や介護保険施設職員等の専門職を対象に研修を実施した。

	研修日	研修内容	参加者
1	5/14	介護レクリエーションで広がる笑顔の輪	14人
	9/24		31人
2	6/4	認知症高齢者の終末期ケア	33人
	12/1		22人
3	6/2	イライラとうまく付き合う介護職になる（アンガーマネジメント）	31人
	10/22		26人
4	5/23	認知症高齢者の転倒予防	41人
	11/21		26人
5	6/3	身寄りがなく意思決定が困難な方の入院・入所に係る支援	27人
	10/21		18人
6	5/26	バリテーションの基本	19人
	10/27		20人
7	5/29	認知症者に対する脳活性化リハビリテーション	15人
	10/2		30人
8	5/28	怒りのある方への対応	23人
	9/3		29人
	12/3		32人
	3/23		15人
9	6/18	認知症の方のBPSD出現を予防する関わりと対応	22人
	6/19		21人
	10/15		17人
	10/16		8人
10	5/20	実践で活かすパーソン・センタード・ケア	16人
11	9/4	パーソン・センタード・ケアを基盤とした急性期病院における身体拘束最小化	11人
12	6/17	認知症の人の思いやニーズを理解するためにパーソン・センタード・ケアの考え方とその活用	25人
13	7/10	食べなくなった認知症高齢者の支え方Ⅰ (自尊心を高めるケア)	38人

14	7/11	食べなくなった認知症高齢者の支え方Ⅱ (消去法と帰納法)	42人
15	7/7	認知症高齢者のコミュニケーション 障害の原因と対応(言語聴覚士の視点からのアプローチ)	35人
16	6/25	高齢者の食事援助	31人
17	8/28	認知症高齢者の終末期ケア	31人
18	8/7	認知症を生きる人との心の対話	40人
19	8/21 8/22	アドバンス・ケア・プランニング ～認知症高齢者と家族の意思決定～	11人 11人
20	9/1	介護職員のメンタルヘルス ～ストレスに対処できる介護職を目指そう～	35人
21	8/25	レビー小体型認知症の人の支援 ～当事者・家族からの経験から学ぶ～	22人
22	9/10 3/18	身体拘束廃止の課題と実践	40人 26人
23	9/11 3/19	養介護施設従事者等による高齢者虐待防止	38人 24人
24	8/18	懐かしい記憶から引き出す生きがい	22人
25	10/1	認知症の理解とせん妄、BPSDの予防	15人
26	10/18 10/18	優しさを伝えるケア技術「ユマニチュード®」	13人 4人
27	11/13	食べる機能の低下と取り戻す訓練	38人
28	11/14	看取り期における食支援 本人の希望を尊重した「お食い締め」のあり方	26人
29	10/20	言語聴覚士の視点で診る認知症高齢者のコミュニケーション障害の原因と対応	19人
30	3/6	認知症高齢者の残存機能を生かしたBPSDへの対応	31人
31	3/4 3/5	対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応 ～フードステージで食形態を確認し介助のコツをつかもう～	22人 17人
32	3/25	穏やかで自然な最期を看取るケア —高齢者施設を中心に—	25人
33	3/25	在宅で自然な最期を看取るケア —在宅・居宅を中心に—	18人
計			1,246人

(ウ) 専門職向け配信研修

医療機関・福祉施設等の職員を対象として、専門職研修の講義の内容を動画で配信した。

	研修内容	申込施設数	視聴申込者数
1	せん妄の理解とケア	18施設	93人
2	不安焦燥感へのケア	18施設	90人
3	錯乱状態への対応とケア	11施設	80人
4	ケア従事者のストレスマネジメント	16施設	21人
5	認知症の方とのコミュニケーション	22施設	189人
6	認知症の様々な症状に対するアプローチ	27施設	147人
7	開口不良となった認知症の方のケア	18施設	32人
計		130施設	652人

(エ) 働く世代への認知症啓発

県内の企業に勤務する方に対し、認知症の基礎知識、対応等について研修を実施した。

	研修日	会 場	参加者	講師
1	9/18	ハーツ物流センター2階	110人	看護師
		合 計	110人	

(オ) 学生研修

学生を対象に教育カリキュラムの一部として、認知症高齢者の臨床に係る生活援助の在り方の研修を実施した。

	研修期間	学校名	延人数
1	8/4~14	福井県立大学	4人
		計	4人

(カ) 研修等受入

	研修期間	対象者	内容	延人数
1	5/21	ケアマネジャー等	病院見学会	9人
2	7/16	ケアマネジャー等	病院見学会	34人
3	9/29	ケアマネジャー等	病院見学会	11人
		合 計		54人

(キ) 家族介護研修

a 家族会

認知症介護を行っている家族、認知症介護に携わっている専門職や認知症に関心のある一般県民が認知症に関する知識を深め、その中で介護に役立てられる知識を得る。また認知症高齢者の生活の質を考え、介護家族が抱えている思いを共感・共有しながら介護負担の軽減を図るため家族会を実施

	実施日	内 容	参加者
1	4/11	介護の悩み相談、アドバイス	4人
2	5/16	介護の悩み相談、アドバイス	6人
3	6/13	介護の悩み相談、アドバイス	7人
4	7/11	当院医師からの話、悩み相談	7人
5	9/12	介護の悩み相談、アドバイス	7人
6	11/14	介護の悩み相談、アドバイス、和菓子作り	8人
7	12/12	介護の悩み相談、アドバイス	7人
8	3/13	介護の悩み相談、アドバイス	11人
		合 計	57人

b 入院患者家族研修

(a) 外出・外泊時研修

外出・外泊時において、個々に応じたケアの留意点を知ること、家族が

入院患者に適切なケアが行え、介護負担が軽減できるよう研修を実施した。

※ 参加者数：(外出時) 165 件、(外泊時) 0 件

(b) リーフレット研修

患者家族が認知症に対する正しい知識と理解を得るため、リーフレットを用いた研修を実施した。

※ 参加者数：3,829 人

c 外来患者家族研修 (外来初診時研修)

在宅での家族介護者に対し、地域での介護・相談窓口・介護保険制度等について助言し、家族の介護力の向上を図ることを目的に研修を実施した。

※ 参加者数：481 人

d デイケア患者家族研修

患者家族が認知症に対する正しい知識と理解を得るために、リーフレットを用いた研修を実施した。

※ 参加者数：2,821 人

イ 認知症およびその予防に関する知識の普及および啓発に関する業務

(ア) 開院30周年記念講演会

(日時) 令和7年9月28日(日) 14時から15時30分

(場所) 福井県生活学習館(ユウ・アイふくい)多目的ホール

(講師) タレント/女優 柴田理恵 氏

(内容) 「親子の対話、大切に! ~遠距離介護の幸せなカタチ~」

(参加者) 431 人

(イ) 講師派遣

認知症およびその予防に係る知識の普及・啓発を図るため、他機関からの依頼に応じ、院外に講師を派遣し、研修を実施した。

研修日	研修事業名	会場	参加者	講師	
1	4/17	大塚製薬株式会社	土屋耳鼻咽喉科クリニック	20 人	医師
2	4/22	丸岡町民生委員児童委員協議会	高椋コミュニティセンター	50 人	介護福祉士
3	5/22	大塚製薬株式会社	大塚製薬(株)福井出張場	50 人	医師
4	5/30	鯖江市社会福祉協議会	アイアイ鯖江健康福祉センター	12 人	看護師
5	6/23	福井県社会福祉協議会	当院 ZOOM	22 人	看護師
6	6/27	高椋コミュニティセンター	丸岡地域包括支援センター	2 人	看護師
7	7/12	地域包括支援センターさばえ	介護医療院かがやき	22 人	看護師
8	7/18	福井県立大学	福井県立大学	55 人	看護師
9	8/1	福井県看護協会	福井県看護協会	68 人	看護師長
10	8/26	福井市シルバー人材センター	福井フェニックスプラザ	55 人	作業療法士
11	9/6	県民せいきょう	岡保きらめき	7 人	看護師
12	9/8	福井県看護協会	福井県看護協会	79 人	看護師

13	9/18	福井県看護協会	福井県看護協会	79人	看護師
14	9/27	福井県看護協会	ドリーム訪問看護ステーション	4人	看護師
15	10/6	福井県看護協会	福井県看護協会	79人	看護師
16	10/25	福井市障害者福祉連合会	福井フェニックスプラザ	30人	看護師
17	10/27	福井県社会福祉協議会	当院 ZOOM	14人	看護師
18	10/31	福井県看護協会	福井県看護協会	7人	看護師
19	10/16	越前町役場	越前町包括支援センター	3人	看護師
20	11/14	福井市湊公民館	あたご包括支援センター	7人	看護師
21	11/9	福井県医師会	福井県医師会	15人	看護師
22	11/9	福井県医師会	福井県医師会	15人	看護師
23	11/6	福井県看護協会	福井県看護協会	26人	看護師
24	11/13	福井県看護協会	(株)仁愛ケアサービス	37人	看護師
25	11/21	福井県看護協会	坂井地区医師会ケアセンター	24人	看護師
26	11/21	ふくま振興会	ふくま振興会	20人	介護福祉士
27	12/2	丸岡地域包括支援センター	高椋コミュニティセンター	2人	看護師
28	12/5	越前町役場社会福祉協議会	織田保健福祉センター	20人	看護師
29	12/18	南越前町教育委員会事務局	南条地区公民館	30人	介護福祉士
30	1/30	福井県ろうあ協会	県社会福祉センター	12人	看護師
計				866人	

ウ 認知症高齢者に関する一般県民からの相談および指導に関する業務

受診相談、外来・介護相談 計550件

(2) 認知症カフェ実施事業

ア 目的

認知症患者および家族の方等を対象に、活動を通じた役割づくり、患者・家族の気分転換、患者からの相談、家族の介護相談等を目的に実施する。

イ 日時、場所

(日時) 毎月第2金曜日：午後1時30分～3時30分

(場所) 講堂

ウ 実績

開催回数 8回

利用者数 89人

(3) MC I 進行予防教室

ア 目的

認知症専門病院として、認知機能低下の早期段階から適切な支援を行い、本人の有する能力を最大限活かしながら、住み慣れた地域でその人らしく生活を継続できるよう支援体制の構築を目的とする。

そのため、認知症およびMC I (軽度認知障害) に対する正しい理解の促進、進行予防への取組み、当事者同士の相互支援および社会的つながりの維持を図る場として、多職種専門性を活用したMC I 進行予防教室を実施する。

イ 日時、場所

(日時) 毎週木曜日：午前9時～11時 4回を1シリーズとし、毎月実施する。

(場所) 講堂

ウ 活動内容

国立長寿医療研究センターが開発した「コグニサイズ」プログラムを活用する。「コグニサイズ」とは、「コグニション（認知）」と「エクササイズ（運動）」を組み合わせた造語であり、認知課題と身体運動を同時に行うことで認知機能低下予防を図るプログラムであり、同センターの研修を受けた専門職が指導を行う。またコグニサイズ実施後には、創作活動や音楽鑑賞、計算やパズルなどの脳のトレーニング、栄養教室などを週替わりで行う。

エ 実績

開催回数 19回

利用者数 149人

4 その他施設の管理運営に必要な業務

(1) 医師の確保

常勤精神科医師の3人体制、非常勤医師の宿日直体制を堅持するため、以下の医師確保対策を実施。

ア 福井大学精神医学教室の関連病院としての連携強化

a 精神医学研究への支援

当院を精神医学の研究施設として提供し、県内精神医学のレベルの向上とともに、当院の認知度や職員の質的向上を図った。

b 寄附金申込みの継続

学術研究の奨励を目的として、寄附金の申込みを継続して行った。

c ローテ医の指導・育成の充実

当該医学教室の研修プログラム連携施設として、当院の精神科指導医によるローテ医の指導・育成を実施した。

(2) 5類移行後の新型コロナウイルス感染拡大への対応

新型コロナウイルスは感染症法上では「5類」に分類されているが、重症化しやすい高齢者の患者を診療対象としている当院では、これまでの感染防止対策を緩和することなく、以下の内容を中心に継続した。

ア 職員全員の感染防止対策

職員全員はマスク着用を継続するとともに、同居家族の体調確認を行った。

イ 患者・家族のマスク着用の協力依頼

受診時や家族が来院する場合は、マスク着用協力の依頼を行った。

ウ 入院当日や疑似症患者等の抗原検査・PCR検査の実施

患者の入院当日や新型コロナウイルス感染疑似症の発生等において、病棟内に感染が拡大しないよう、抗原検査やPCR検査をタイムリーに実施した。

エ 病棟内の換気対策

新型コロナウイルス感染の主な経路は空気感染であり、季節・天候に配慮しながら、換気対策を実施した。

オ 対面面会の再開（オンライン面会の継続）

土日も含め、予約制による対面面会を再開した。またこれまでどおりオンライン面会も継続している。

5 法人の運営に関する業務

(1) 指定管理者更新に伴う申請

令和7年12月23日 福井県立すこやかシルバー病院の指定管理者として指定を受ける。

期間 令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

(2) 基本給の改定

福井地方最低賃金審議会は、令和7年8月12日、令和7年度の最低賃金の引き上げ額を69円とし、時給984円から1,053円とするよう福井労働局長に答申し10月8日から適用されることになった。

また、「令和7年度医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業実施要綱」に基づき、医療機関における人材確保及び処遇改善を目的として、令和7年12月分から令和8年5月分までの賃金改善に充てるための給付金が支給されることとなった。

同事業では、令和7年3月31日時点の賃金水準と比較して賃金改定率が2.0%を上回る場合、その上回る部分に当該給付金を充当することが可能とされた。

これらの状況を踏まえ、職員の処遇改善及び人材確保を図るとともに、本事業を有効に活用するため、定期昇給分を除くベースアップ分について、給料表を全等級一律概ね2.6%程度引き上げる内容に改正した。

(3) 評議員会の開催

	開催日・場所	議 題
第1回	令和7年6月9日 当院2階 会議室	<ul style="list-style-type: none">・令和6年度事業報告および財務諸表の承認・令和7年度事業計画（案）および正味財産増減予算書（案）の承認・評議員の選任について・理事の選任について

(4) 理事会の開催

	開催日・場所	議 題
第1回	令和7年5月22日 当院2階 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業報告および財務諸表の承認 ・評議員選任候補者の推薦について ・理事の選任案について ・評議員会の日時および場所ならびに決議の目的である事項等について
第2回	令和8年3月16日 当院2階 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度正味財産増減予算書（決算見込）（案）について ・令和8年度事業計画（案）について ・令和8年度正味財産増減予算書（案）について

6 福井県立すこやかシルバー病院指定管理者外部評価委員会による評価結果

(1) 日時・場所

令和8年3月12日（木）当院2階 会議室

(2) 外部評価委員

（関連分野の専門家）上野幹二氏、篠崎智江氏 （経営の専門家）藤井宏澄氏
（利用者代表）二宮かよ子氏

(3) 当センターの出席者

刀禰理事長、升谷院長、増田看護部長、谷口地域連携室長、山口事務部次長、佐々木主事

(4) 評価結果

概ね良好

(5) 意見要望とその対応内容

意見要望（外部評価委員会）	対応内容（当センター）
外来の待ち時間について、短縮に向けて引き続き対応していただきたい。	診療の特性上、一定の待ち時間が生じることは避けがたい側面もあるが、待ち時間の更なる短縮に努めるとともに、待ち時間による負担軽減を図るため、受付から診察までの案内方法の工夫や待ち時間の見通しの共有、院内環境の整備等に取り組んでいく。

<p>一般研修について、研修内容や広報、実施場所等の工夫に引き続き取り組んでいただくとともに、可能な範囲でオンラインによる実施も検討し、参加者の増加に努めていただきたい。</p>	<p>一般研修については、内容の充実に加え、研修方法や開催場所の工夫に取り組んでいく。具体的には、市町村役場を通じて公民館への周知を行うとともに、社会福祉協議会と連携し、老人クラブや各種イベントにおける講師派遣を実施することで、参加者の増加に努めていく。</p>
<p>駐車場について、駐車区画の線が見えづらく駐車位置が分かりづらい等の声があることから、改善に努めていただきたい。</p>	<p>駐車区画の区画線については、速やかに改修を実施する。</p>